

ユネスコ無形文化遺産登録・風流踊

# 「綾子舞」 研修会のご案内



彩子舞（小原木踊）現地公開展示の光景（HPより）

いつ：2024年6月27日（木）18時00分～（2時間程度）

どこで：黛アート・サロン（東京都港区赤坂3-10-3）電話：03-3853-3633

費用：1,000円（お一人）日本民俗芸能協会会員は無料

持ち物：浴衣（運動着でも可）、扇、足袋

講師：林 千永（日本民俗芸能協会副会長）

## 綾子舞とは

新潟県柏崎市の中心部から約16Km南に離れた女谷おなだにに約500年前（室町時代）から伝承されている民俗芸能です。

現在は高原田と下野の二つの集落が受け継いで保存振興活動を行っています。小歌踊、囃子舞、狂言の3ジャンルがあって、小歌踊の演目は高原田に4演目、下野に5演目が伝承されていて、高原田は二人、下野は三人で踊り、同じ演目でも歌詞や踊り方（振り）、衣裳等に違いがあります。

小歌踊は、太鼓（大太鼓・締太鼓）、篠笛、鼓、鉦による囃子に合わせて踊ります。踊りは出羽で（謡）、本歌（小歌）、入羽ほの三段階で構成されていて、振袖の衣裳にダラリの帯を締めて、頭に緋色の布（ユライ）を被り、かざり扇、ゆすり扇、投げ扇等々扇を使い分けた美しい振りや足さばきで優雅に踊ります。

研修は、「小原木踊」で、日本民俗芸能協会が綾子舞保存振興会から直接指導を受け、振りを正しく受け継いでいます。はじめての方にも、やさしくご指導いたします。

## 日本民俗芸能協会（第6回研修会）

お申込み＝講師：林（電話／03-3971-4758）総務：清水（電話／090-4915-2917）